



# おいでよ！すまいるスクール！

★ 放課後に子どもたちが安全に楽しく過ごせる場所、すまいるスクール。今回は、大井第二地域内のすまいるスクールをご紹介します。今年の4月からは午後7時までの延長利用も可能となり、5時以降も利用する子どもには間食も提供されるなどますます充実しました。今回の取材では、各校の様子や取り組みなどについて指導員の方々にお話を伺いました。【梶山・吉田・相田】

すまいるスクールは国の施策である「放課後子ども総合プラン」として「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」を一体的に運営する、品川区の「全児童放課後等対策事業」です。

## 伊藤学園

個性をのびして輝く！

今回お話しを伺った指導員の根岸先生の「すまいるスクールを通して人との関わりを学び、個性を伸ばし、輝いて欲しい」という言葉に子どもたちに対する深い愛情を感じました。

子どもが安全・安心してのびのび過ごせる場所として、すまいるスクール伊藤学園は毎日約125名の児童で大賑わいです。指導員と先生方の距離が近く、情報交換や綿密な連携により、子どもたちの些細な変化も見逃さないよう心掛けています。 「ハラハラえんにち」は、ヨーヨー・宝釣り・焼きそばなどの出店が出て、子どもに大人気の特別イベントです。また、高学年を中心に、出し物・準備・当日の進行まで子どもたちが行う「子ども劇場」は、すまいるスクールの勉強会や各教室の一年間の成果を発表する一大イベントで、見学した保護者からは、「我が子の成長ぶりに感動した」や「家とは違う一面が見られて新鮮だった」など多くの感想が寄せられるそうです。



「こども劇場」の様子



「みんなで遊ぼう」綱取りゲーム

取材した日は月に一度の「みんなで遊ぼう」という全員参加のイベントの日でした。学年やクラスが違うたくさんのお友だちと綱取りゲームを楽しむ子どもたちは、とても生き生きしていました。

指導員の清水先生は「大井第一のすまいるは大人数ですが、子どもたちは下級生のお手伝いなどを通じて積極的になり頼もしく成長していつてくれます」とおっしゃっていました。

自然と触れ合える！



## 大井第一小

大井第一すまいるスクールでは、毎日150名以上の子どもたちが参加し、宿題をしたり遊んだりして過ごしています。土の校庭や花壇・ビオトープがあり、虫探しや草花を集めてままごをするなど、自然と触れ合える環境があることも特徴です。また勉強会の他に、地域のボランティアや保護者の方々に支えられてサッカー、野球、将棋、囲碁、クッキング、英語、フリースタイルなど教室も開かれています。一輪車、コマ、あやとり、バトン、新体操などの検定制度もあり、子どもたちは磨いた技を3月の発表会で披露しています。子どもたちに教室を開いてくださるボランティアの方も随時募集しているそうですので、ご興味のある方はすまいるにお問い合わせください。

## 山中小

地域の中で育つ！

お話を伺った指導員の守屋先生は「教室を通じて、子どもたちは楽しみながら地域の方々と交流し、地域とかわりながら成長していくことができます。ふだん交流の少ない世代の方とも交流することができずし、教室はとても大事なものと位置付けています」とおっしゃっていました。

すまいるスクール山中小では、毎日100名前後の子どもたちが参加し、山中小内の3つの部屋（個別学習室、豊スペースのあるプレイルーム、卓球などの運動も可能なわくわくルーム）を中心に、元気に過ごしています。山中小でも、地域ボランティアの方々による様々な教室が開かれています。今回はフラグフットボール教室を見学させていただきましたが、蒸し暑い中、子どもたちは元気いっぱい、楽しそうに走り回っていました。この他にも、区内で数か所しか行われていないビーチバレーボール教室や、祖父母世代の方が講師を務める教室（絵手紙教室、詩吟教室など）も開かれています。



プレイルーム



フラグフットボール